

Tamanaha Seikichi



S. TAMANAHA

「灯」1980年

「目しいた野良猫」1968年

企画展 沖縄近代彫刻の礎 玉那覇正吉展 — 彫刻と絵画の軌跡 —

2012年1月11日(水) ▶ 3月11日(日)

沖縄県立博物館・美術館

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号 TEL 098-941-8200

開館時間：9：00～18：00（金・土は20：00まで。入館は閉館30分前まで）

休館日：毎週月曜日、1月24日（火）

観覧料：一般800円（640円）

大学生・高校生500円（400円）

中学生・小学生300円（240円）

※（ ）内は前売及び20名以上の団体料金

〔主催〕 沖縄県立博物館・美術館

〔後援〕 沖縄県美術家連盟 / 沖縄県文化協会 / 沖縄タイムス社 / 琉球新報社 / NHK沖縄放送局 / 沖縄テレビ放送 / 琉球朝日放送 / 琉球放送
ラジオ沖縄 / エフエム沖縄 / タイフーンfm / エフエムレキオ

〔協力〕 株式会社沖縄ファミリーマート

あなたも、コンビニに、

FamilyMart

沖縄ファミリーマート

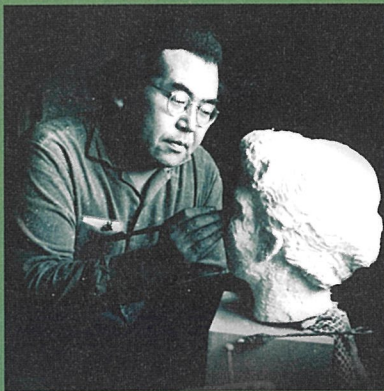
すべては ニシムイ から始まった

かつて、沖縄戦のため焼け野原となった首里の高台に、芸術家たちが集いアトリエを建てた。ニシムイ美術村の誕生である。彼らは、日々芸術論を交わり制作に没頭した。やがてそれぞれの生き方で、戦後沖縄の美術をリードしていくことになる。その一人、ひめゆりの塔のレリーフなどの制作で知られる玉那覇正吉の彫刻、絵画約150点を一挙公開する。

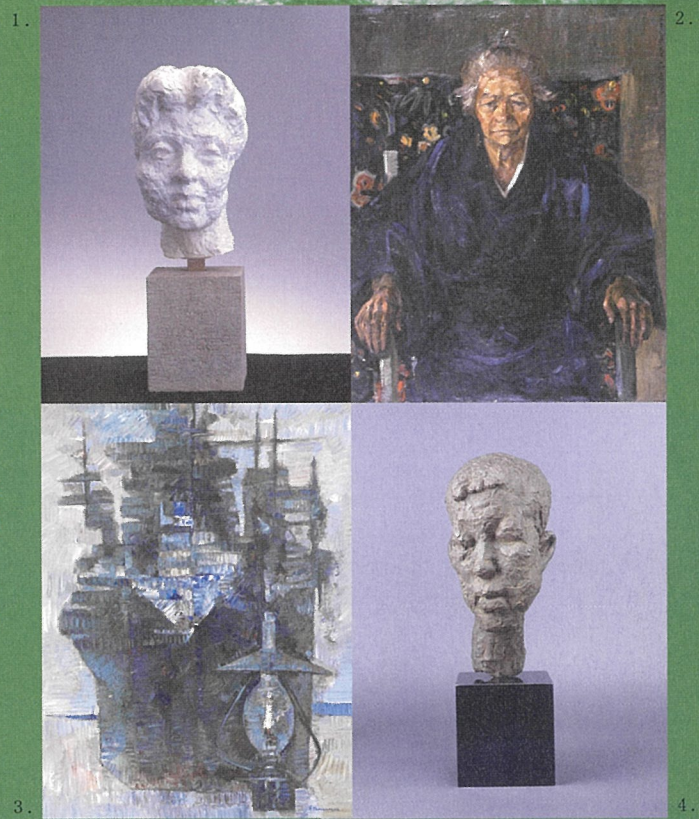
沖縄の美術シリーズ3

企画展 沖縄近代彫刻の礎 玉那覇正吉 — 彫刻と絵画の軌跡 —

ニシムイ美術村の玉那覇正吉アトリエ (1940年代)



県立美術館では、郷土出身作家の企画展を開催し、その足跡をたどるとともにそれぞれの作家の、芸術の精華を展望する「沖縄の美術シリーズ」を開催しています。今回は、戦後の沖縄美術界をリードした彫刻家であり、また画家の玉那覇正吉(1918~1984)を紹介いたします。玉那覇正吉は東京美術学校で彫刻を学んだ後、戦後の沖縄ニシムイ美術村で、本格的な創作活動を開始します。また、作家として活動しながら、琉球大学において後進の指導にもあたりました。本展覧会では作品や関連資料から芸術家、玉那覇正吉の軌跡を通観し、玉那覇芸術の精神とその世界を鑑賞していただきたいと思ひます。



1. 吉子像 1959年
2. 老母像 1954年
3. 坐礁 1978年
4. 少年像 1978年



関連イベント

※シンポジウム(1)、(2)の入場は本展の観覧券、または半券が必要です。
※ギャラリートーク、キュレータートークは本展の観覧券(当日有効)が必要です。

■ギャラリートーク

時間：15:00 ~ 16:00

会場：企画ギャラリー

- 期日：① 1月21日(土)
② 3月3日(土)
③ 3月10日(土)

■キュレータートーク

時間：15:00 ~ 16:00

会場：企画ギャラリー

- 期日：① 1月14日(土)
② 2月4日(土)

■シンポジウム(1)

「玉那覇彫刻と沖縄の彫刻」

日時：2月12日(日)14:00 ~ 17:00

会場：講堂

■シンポジウム(2)

「玉那覇正吉の芸術論」

日時：2月24日(金)18:00 ~ 20:00

会場：講堂

【アクセス】 ■沖縄都市モノレール「ゆいレール」おもろまち駅下車 徒歩10分

■バス ◇那覇空港発99番線 おもろまち3丁目バス停留所下車 徒歩5分 ◇120番線 上之屋バス停下車 徒歩10分

◇市内線 3・7・10番線 県立博物館前バス停下車 / 6番線 那覇メインプレイス東口バス停下車 徒歩10分

◇市外線 バイパス経由おもろまち駅前バス停下車 徒歩10分 / 国道58号経由 上之屋バス停下車 徒歩10分 / おもろまち行 おもろまち一丁目バス停下車 徒歩3分

【プレイガイド】 ファミリーマート各店(イープラス)、ミュージアムショップゆいむい、コープあぶれ、リウボウサービスカウンター(パレットくもじ8F)、ジュンク堂書店那覇店 Books きょうはん美浜店・一日橋店・とよみ店・安謝店、田園書房宜野湾店、球陽堂書房那覇メインプレイス店・西原シティ店、TSUTAYA 那覇新都心店・首里店

【お問い合わせ】 沖縄県立博物館・美術館 〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号

TEL:098-941-8200 <http://www.museums.pref.okinawa.jp>